

「オンラインプログラミング学習研修」開催

～JISA 会員企業による小学生教員向けオンラインプログラミング研修～

JISA 未来の学びプロジェクト（プログラミング教育）

令和3年1月27日(水)、和歌山県的那智勝浦町立下里小学校、那智勝浦町立市野々小学校、那智勝浦町立勝浦小学校の教員が参加した。参加者は、約15名。

JISA 未来の学びプロジェクトは、**プログラミングの楽しさを伝える活動(※)**をしてきた。今回、新型コロナウイルス感染症対策として、平成30年度「[小学校100校に書籍を寄贈するプロジェクト](#)」にご応募いただいた小学校を対象にオンラインワークショップ（ボランティア）を募ったところ、下里小学校から「和歌山県の東南に位置しており、小規模の学校が多い地域です。周辺に大学もないため、教科教育の研修を受講したり、講師に来て頂いて話を聞く機会も多くありません。そのため、プログラミング教育について落ち着いて学ぶ機会が少なく、ぜひオンラインワークショップを職員全体で受けさせて頂ければと考えています。」と応募があり、近隣の市野々小学校、勝浦小学校も加わり、教員向けのプログラミング研修がオンラインで開催された。

◆ 実施概要

① はじめに

島田俊夫座長((株)CAC Holdings)より、「本日はプログラミングを『楽しく学ぶ』ことを体験していただきたい」と挨拶があった。

(子ども向けプログラミング授業の紹介・体験)

② 「データをめぐる謎を探れ！」

今野奈穂子委員(日鉄ソリューションズ(株))より、自社開発のプログラミング学習サイト「[K3Tunnel](#) (ケイサントンネル)」の概要及び Mission09「[データをめぐる謎をさぐれ!](#)」を活用した授業アレンジ例の紹介及びプログラミング授業の体験。

③ こども IT 体験プログラミングを体験してみよう

西原真仁委員 ((株)JSOL)より、プログラミングツール「[Viscuit](#)」「[Scratch](#)」を活用して、「アルゴリズム」の理解等を目的としてプログラミング授業の体験。



○受講者からのご意見

◆研修の満足度

- ・とても丁寧に進めて下さり、分かりやすかったです。ケイサントネルは、今までの聞いたことのあったキャラクターやロボットが動くといったものとは違ったので、新しく感じました。お話を聞きながら、操作してみたのですが、ブロック等をうまく操作できなかつたので、もう少し触ってみたいと思っています。Viscuit は、操作が簡単なのですぐに慣れるように思いました。低・中学年での活動に取り入れていきたいと思っています。Scratch は、触ったことがあったので、安心しました。いくつかの教材をやってみると、この教材の良さがよく分かります。
- ・「こども IT プログラミング体験」は楽しく体験させて頂きました。授業で扱う時、児童に対して、どこに視点（目標）をもたせ、活動させるのか、しっかり授業設計をつくるのが重要になってくるのではないかと思います。
- ・K3Tunnel については初めて知ったので、教えて頂けて良かったです。実践事例もさらに見てみようと思います。Viscuit や Scratch は初めて触りましたが、思った通りにはなかなかできませんでした。いろいろ試して思い通りに動いてくれたときは、楽しいと思えました。使い慣れるのが一番だと感じました。

◆その他（感想等）

- ・プログラミングソフトの使い方は少し理解できたのですが、これを用いて子どもたちにどのような力をつけさせていけばよいのか、指導者側がしっかりと目標をもって取り組まないといけないと感じました。
- ・研修を受けたあとにクラスでプログラミングの授業をしました。子どもたちは、私よりもずっとのみこみが早く、どんどん進めていくことができました。実際にさわって、慣れていくことも大切だと感じました。
- ・三学期に実際に Viscuit を児童に指導してみたいと思います。また、ご助言よろしく申し上げます。

(※) JISA 未来の学びプロジェクト（プログラミング教育）では、令和 2 年度から必修化される小学校プログラミング教育の導入が円滑に進み、すべての子どもたちがプログラミングの楽しさ、可能性に触れる機会を持ち、ソフトウェアで生き生きとした未来を築いていく人材を育てていきたいという思いで、平成 30 年度にプログラミング教育に関する図書（10 冊 1 セット）を 200 校へ寄贈した。また、JISA 会員企業からボランティアを募り、8 校の小学校で JISA プログラミングワークショップを実施してきた。令和 2 年 10 月 10 日(土)にはオンラインワークショップも実施している。

(溝尾)